熊本市立植木北中学校学校だより　第２５号

日　進　月　歩

令和７年 10 月 31 日（金）
校長　坂本正二
「可能性は無限大（∞）」
植木北中 HP→

ボランティアに参加しました
～植木温泉祭 2025 たそこ夢まつり～

少し前のことですが、10月４日（土）に合志川河川敷広場で「植木温泉祭 2025～たそこ夢まつり～」が開催されました。このお祭りには、５人の子どもたちがボランティアとして参加し、地域のために力を貸してくれました。

活動時間は朝9時から約2時間。子どもたちは、危険を防ぐためのロープの設置や案内掲示の貼り付け、テントの設営などを担当しました。中には力仕事もあり、大変だったようですが、みんなで協力しながら取り組むことができたようです。

参加した子どもたちは、「友達と協力して活動できて楽しかった」「自分の住んでいる地域のために役立てて嬉しかった」と話してくれました。みんな明るい笑顔で話していて、活動がとても充実していたことがよく伝わってきました。

子どもたちの頑張る姿に、運営本部の方もとても喜んでおられました。また、この日は和太鼓部の演奏も予定されていましたが、残念ながら雷雨のため中止に。それでも、会場のマイクを通じて「演奏できず残念だったけれど、貴重な機会をいただけて感謝しています」と代表生徒が気持ちを伝えてくれました。その姿に、運営本部の方々も深く感動されていました。地域のために爽やかに活動してくれた子どもたちに、心から感謝したいと思います。

笑顔輝く北中オリンピック

体育委員会主催の「北中オリンピック」。今回はバドミントン競技が行われました。 学年を問わずペアを組み、先生たちも参加するなど体育館は熱気に包まれ、たくさんの生徒がバドミントンを楽しんでいました。試合は男女別のトーナメント形式で、制限時間内の得点数によって勝敗が決まります。

９月にスタートしたこの大会は、合唱コンクールの練習による中断を挟み、先週の金曜日にいよいよ決勝戦を迎えました。決勝戦は、男女ともに3 年生ペア同士の対戦。応援の声、笑い声、時には野次も飛び交う中、白熱した試合が繰り広げられました。

体育委員の子どもたちが企画・運営を担当し、自主的に行動する姿がとても印象的でした。参加した子どもたちも笑顔いっぱいで、和やかな雰囲気の中、本校らしさが存分に表れたイベントとなりました。今後もこうした活動が続いていくことを願っています。

優勝者のコメント

男子の部

「友達と一緒に優勝できてとても嬉しいです。試合中はミスを責めず、互いにカバーし合えたことが勝因だと思います。担任の先生から『優勝したら席替えするよ』と言われていたので、友達も一生懸命応援してくれました。保育園からずっと一緒の友達との絆が、勝利につながったと思います。」

女子の部

「優勝できて本当に嬉しいです。緊張もありましたが、友達の励ましやサポートのおかげで乗り越えられました。得点した時に一緒に喜べたのが最高でした。最初は息が合わずミスもありましたが、声を掛け合うことでプレーがどんどん良くなりました。バスケ部の『絆チャンネル』最強です。」

主催者より（実行委員長）

「トーナメント表の作成など準備は大変でしたが、男女問わず多くの生徒が参加してくれて嬉しかったです。体育委員のみんなと協力して運営できたことも、とても良い経験になりました。」